

# 令和 6 年度当初予算案の概要

令和 6 年 2 月 1 4 日

## 1 予算編成の基本姿勢

- (1) 世界ではロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の不安定化など、先行き不透明な状況が続くとともに、国内においても、昨年の台風第 7 号や年初に発災した能登半島地震などの自然災害、長引く物価高騰、深刻さを増す少子化・人口減少といった諸課題への対応が求められるなど、時代の大きな転換点に立っている。
- (2) こうした中、令和 6 年度地方財政計画においては、地方税等の伸びに支えられ、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税は減額となりながらも前年度を上回る一般財源が確保されたが、予算編成に当たっては、物価高騰等に起因する人件費や光熱費などの経常的経費の増嵩への対応も余儀なくされる厳しい状況となった。しかし、以下に掲げる喫緊の課題に対応するため、財政調整型基金や前年度繰越金など様々な財源を駆使し、総額 3, 6 0 5 億円の積極型の予算を編成した。(前年度対比 7. 6 % 増)
- (3) まず、「災害に強いふるさとづくり」では、能登半島地震を踏まえた緊急対策や防災 D X などの防災対策の拡充、台風第 7 号災害からの創造的復興、災害を乗り越えるインフラ整備を行う。
- 第二に、「安心して住める支え愛ふるさとづくり」では、人口減少による課題の解決やコミュニティと生活基盤の充実、長引く物価高騰への対応、脱炭素・命と健康・支え愛のまちづくりを進める。
- 第三に、「ひとりひとりが輝くふるさとづくり」では、若者世代が活躍する地域社会の実現に向け、教育委員会や高等教育機関を巻き込んだ「とっとり若者 U ターン・定住戦略本部」の設置・メタバース空間での交流等（若者目線の提案）を実施するとともに、「シン・子育て王国」の本格始動、ととりの未来を創る人財育成、ねんりんピックや美術館開館等を捉えたスポーツ・芸術・文化の振興を推進する。
- 第四に、「産業と交流で活力あるふるさとづくり」では、大交流時代の観光の戦略的展開、新産業や雇用の振興・D X の推進に加え、賃上げや物流 2024 年問題等に対応する経営力の確保・強化、農林水産業の持続性確保・食パラダイスの発展を図る。
- また、公共事業については、台風第 7 号災害からの復旧促進や北条湯原道路などの地域高規格道路の整備に対する積極的な予算計上などにより、平成 2 2 年度当初予算以来、1 4 年ぶりの高水準となった。
- (4) なお、財政運営に関する県民の皆様との約束である「財政誘導目標」については、令和 6 年度当初予算編成後において、3 つの指標のいずれについても数値目標の範囲内とすることができており、引き続き健全な財政運営を堅持しているところである。

財政指標	R 6 年度当初予算後	数値目標
財政調整型基金残高	2 1 4 億円	2 0 0 億円以上 (R 8 年度)
実質的な県債残高 (※臨財債及び防災関連等の起債の 交付税措置額を除く)	3, 6 2 1 億円	3, 8 0 0 億円以下 (R 8 年度)
プライマリーバランス	6 億円の黒字	当初予算編成時での黒字化

## 2 予算案の概要（一般会計）

○予算規模：3,605億円（前年度当初予算：3,350億円、+255億円、+7.6%）

### <主な増減>

#### <増要因>

補助公共+91.0億円、災害公共+65.1億円、退職手当+40.7億円、単県公共+34.9億円、産業未来共創事業+27.9億円、第36回全国健康福祉祭（ねんりんピック）鳥取大会開催事業+16.6億円、直轄公共+13.7億円、給与費+12.3億円、地方消費税清算金+10.9億円、海洋練習船「若鳥丸」代船建造事業+6.7億円、新興感染症初動対応事業+5.0億円、「シン・子育て王国とっとり」こどもの医療費完全無償化事業+3.4億円 など

#### <減要因>

新型コロナウイルス総合対策強化事業▲101.5億円、公債元金▲21.8億円、新型コロナ克服特別金融支援事業▲11.9億円、西部総合事務所新棟整備事業▲5.4億円、史跡青谷上寺地遺跡整備事業▲4.6億円 など

## ○歳入

（単位：百万円、%）

区 分		R 6 年度	R 5 年度	比 較	
				金 額	変 動 率
予 算 規 模		360,484	335,027	+25,457	+ 7.6
主 な 一 般 財 源	県 税	57,627	56,111	+ 1,516	+ 2.7
	地方消費税清算金	28,199	27,978	+ 221	+ 0.8
	地方譲与税	11,854	11,612	+ 242	+ 2.1
	地方特例交付金 (R6 は定額減税減収補填含む)	1,510	300	+ 1,210	+ 403.3
	地方交付税	143,873	144,552	▲ 679	▲ 0.5
	県 債	28,581	19,527	+ 9,054	+ 46.4
	臨時財政対策債	653	1,601	▲ 948	▲ 59.2
	臨時財政対策債除き	27,928	17,926	+10,002	+ 55.8
	<再掲>地方交付税+臨時財政対策債	144,526	146,153	▲ 1,627	▲ 1.1
	<再掲>県税+地方消費税清算金+地方譲与税+地方特例交付金+地方交付税+臨時財政対策債	243,717	242,155	+ 1,561	+ 0.6
繰 越 金	2,000	100	+ 1,900	+1,900.0	

※各項目において、表示単位未満を四捨五入しているため、各区分の数値と合計欄とが一致しない場合がある。

### 財政調整型基金の取崩し

（単位：百万円）

基金名	R 6 年度	R 5 年度	比 較	【参考】R 6 年度当初 予算後残高
財政調整基金	0	0	0	4,005
県立公共施設等建設基金	0	0	0	7,116
減債基金	6,000	(5,000)	+ 6,000	4,154
大規模事業基金	0	0	0	3,630
長寿社会対策推進基金	0	0	0	2,500
計	6,000	(5,000)	+ 6,000	21,404

※各項目において、表示単位未満を四捨五入しているため、各区分の数値と合計欄とが一致しない場合がある。

※R 5 年度の（ ）は、6月補正予算での取崩し額である。

※R 6 年度当初予算後残高はR 6 年度中の運用利子を加味しない。

○歳 出

(単位：百万円、%)

区 分	R 6 年度	R 5 年度	比 較	
			金 額	変動率
予 算 規 模	360,484	335,027	+25,457	+ 7.6
一般事業	306,867	301,880	+ 4,987	+ 1.7
うち公債費	48,684	50,748	▲ 2,064	▲ 4.1
公共事業	53,617	33,147	+20,471	+61.8

※各項目において、表示単位未満を四捨五入しているため、各区分の数値と合計欄とが一致しない場合がある。

ア 一般事業 3,069億円（前年度当初予算 3,019億円、+50億円、+1.7%）

① 「災害に強いふるさとづくり」

能登半島地震を踏まえた地震・津波対策や住宅耐震化の緊急強化、沿岸監視カメラ設置・防災体制強化、広域防災拠点活用施設整備、災害オペレーション室の整備、災害廃棄物処理の円滑化推進、災害対策本部の防災DX機能強化、防災情報ポータルサイトの構築、危険木事前伐採の集中対策、台風第7号の災害復旧事業や一連の改良復旧、営農再開に向けた支援、河川の樹木伐採・河道掘削 など

② 「安心して住める支え愛ふるさとづくり」

生活機能の維持・確保を図る新たな拠点（マイクロ拠点）の形成に向けた体制づくり等への支援や買物安心確保、コミュニティ・ドライブ・シェアの推進、中山間地域の医療人材・介護サービス確保、民主主義再興に向けた投票所減少防止・政治参加促進、「ミラ・クル・とっとり運動」の推進、生活困窮者への光熱費等支援、とっとりエコライフ構想（トットリボン!）の普及啓発、ICT活用による認知症行方不明防止やアルツハイマー病新薬の治療支援を含む鳥取方式のフレイル対策、若年者等による市販薬過剰摂取（オーバードーズ）への対策、学校でのあいサポート運動学習の全県展開、犯罪被害者支援の充実 など

③ 「ひとりひとりが輝くふるさとづくり」

「とっとり若者Uターン・定住戦略本部」の創設、次代の文化芸術を担う人材育成やCATCH the STAR ミュージックコンテストの開催、メタバース空間での婚活イベント、若者定着に向けたキャリア教育支援プログラムの推進、小児医療費の完全無償化、子育て王国アプリの改修等による子育て情報の発信強化、不妊治療支援の拡充、県立まなびの森学園の開校、県外生徒の募集強化や地元自治体と協調した民間学生寮の運営支援など高校魅力化の充実、「ねんりんピックはばたけ鳥取 2024」の開催、県立美術館の開館準備・機運醸成、「とっとり弥生の王国」の発信強化、バリ・オリパラに向けたトップアスリートの強化 など

④ 「産業と交流で活力あるふるさとづくり」

国際航空路線の新規開拓・拡充・再開、小型ビジネスジェットの活用やアドベンチャーツーリズムの推進、大阪・関西万博を契機とした誘客対策、鳥取砂丘月面化・宇宙関連産業の創出、データサイエンスセンターの設置、物流の2024年問題解決に向けた「トリロジ」推進、ゼロゼロ融資の返済本格化を見据えた支援強化や新たな借換資金の創設、農業生産1千億円達成を進めるための産地・担い手強化への支援、「食パラダイス鳥取県」や地球温暖化に対応した農業の推進 など

イ 公共事業 536億円（前年度当初予算 331億円、+205億円、+61.8%）

① 台風第7号災害からの復旧に向けた最大限の事業進捗、被災箇所を改良を加えて機能強化する創造的復興

② 令和8年度末開通予定の山陰道「北条道路」をはじめとする本県の高速度道路ネットワークの整備促進、県立美術館開館に併せた北条湯原道路（倉吉南IC～倉吉西IC間）の令和7年3月供用開始を確実なものとするなどの地域高規格道路整備

③ 境港の高度衛生管理型市場整備、ため池の防災対策 など

### 3 予算規模の変動率推移

(単位：%)

年 度	R 1 *	R 2	R 3	R 4	R 5 *	R 6
本県当初予算	▲6.0 (+3.2)	+7.8	+4.0	+2.0	▲8.0 (+1.6)	+7.6
地方財政計画	+3.1	+1.3	▲1.0	+0.9	+1.6	+1.7
国の予算	+1.8	+1.2	+3.8	+0.9	+6.3	▲1.6

※\*印の年度の本県当初予算は骨格。下段（ ）は肉付け後。

#### 【参考：地方消費税収と社会保障関係費について】

##### <歳入>

- ・引上げ分（5%→10%）の地方消費税収（市町村交付金交付後） 77.3億円

##### <歳出>

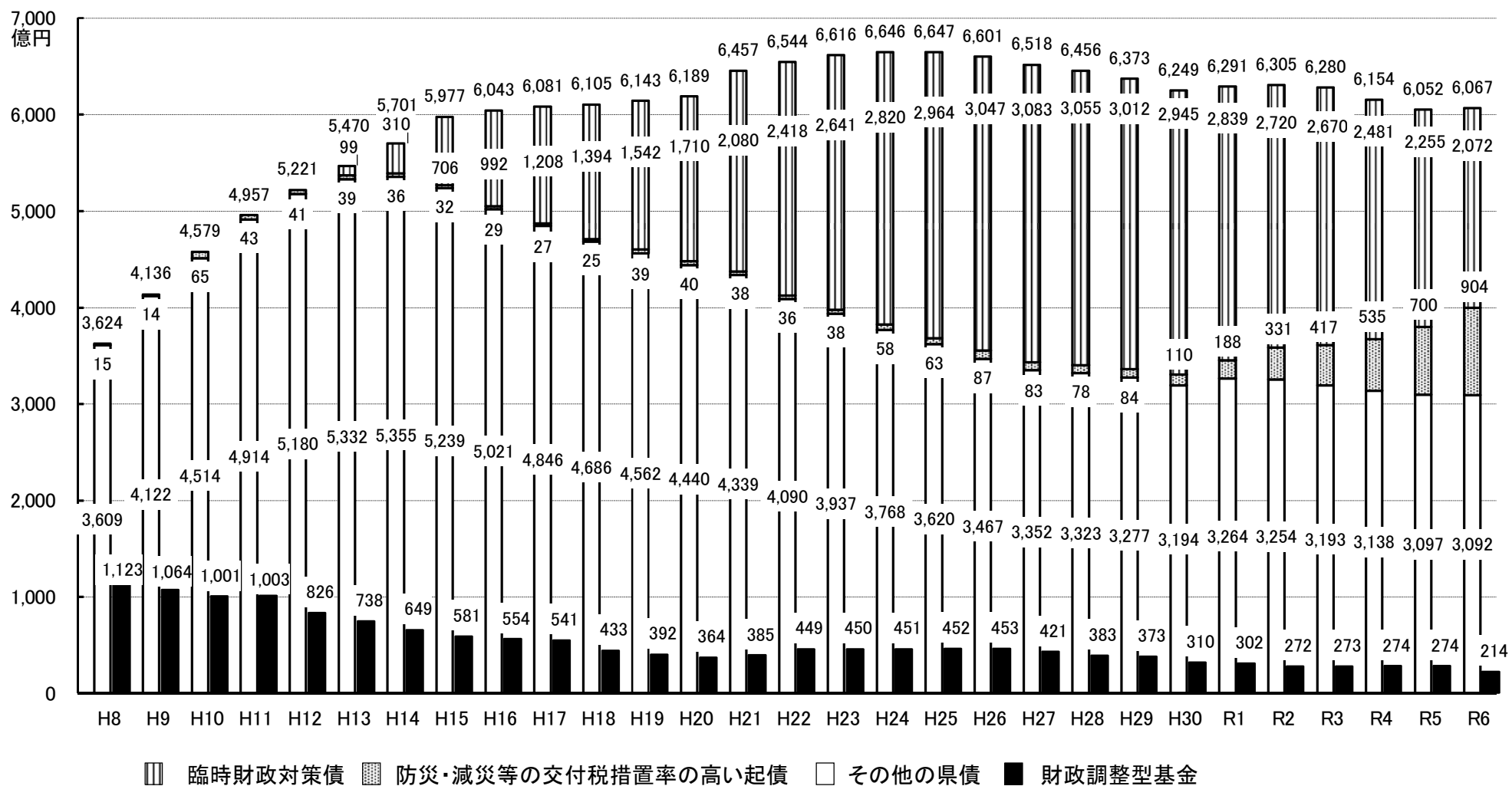
- ・社会保障関係費 567.7億円（うち一般財源480.2億円）

(単位：億円)

社会保障関係費	R 6年度 当初予算	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
社会福祉（障がい者、高齢者、児童等）	244.7	44.2	16.5	184.0
社会保険（介護保険、国保）	148.5	0.2	0.0	148.3
保健衛生（医療施策、健康増進等）	174.5	18.6	8.0	147.9
合 計	567.7	63.0	24.5	480.2

※各項目において、表示単位未満を四捨五入しているため、各区分の数値と合計欄とが一致しない場合がある。

# 県債・基金残高の推移



令和4年度までは決算、令和5年度は2月補正後決算見込、令和6年度は当初予算後  
 (各項目において、表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の数値の計と合計とが一致しない場合がある。)